

F-1 家庭の主婦の日常の管理能力の調査

比治山女短大 下東艶子

目的 家庭の主婦が、日頃、自分の家庭をどのように経営・管理しているか、その管理能力を次のようにして、実態の調査を行なった。

方法 増田米治氏説による経営の鉄則を、家庭経営のために、原則的要素の分析を検討して、次の三部門に分け、さらに、20項目の質問を、身近かな事例によって作成し、解答を求めた。調査対象は広島県下の山間部、海辺部および市内に在住の20才代から60才代までの主婦、317名であり、調査期日は本年7月初旬である。

結果 三部門とは、①計画性②実施③評価である。これらの内容とその結果(平均値)は次のようである。5段階評価であるが、年齢別、地域別の差違は、ほとんど、つかぬが、同じような傾向であった。そこで、30才代(152名)の主婦の調査結果を報告し、代表することにする。即ち、①計画性は……1)目標設定(4.0), 2)予定表(2.0), 3)プログラム(2.0), 4)予算(3.4), 5)予測(2.7), 6)組織づくり(3.3), 7)方針(4.3), 8)手順(4.2), 9)基準(4.5), 10)家族会議(3.1)であり、②実施は……1)要員配置(3.5), 2)訓練(3.5), 3)監督(3.7), 4)権限委譲(3.5), 5)やる気を起こさせる(4.0) 6)話し合い(3.1), 7)調整(2.9), である。③評価は……1)測定(3.6), 2)評価(3.5), 3)修正(3.4)である。これら三部門の総平均値は、それぞれ、3.43, 3.52, 3.49である。各年代とも、方針を立て、手順を考え、基準をきめ、やる気を起こさせる、などの項目の評価は4以上で割合に良く、予定表(献立表)、プログラムを立てることは低い評価で、ほとんどしないと答え、平均の3は、時にはある、と答えた段階である。